

令和4年度学校評価シート（自己評価）

わかばの森幼稚園

1, 園の教育目標

- * 豊かな遊びを経験させて、生きる力の根っこを育てる。
- * 自然との関わりを通して、豊かな感性を育てる。
- * 自由でのびのびした雰囲気の中で、自ら考え行動できる意欲的な人間に育てる。
- * 他人を思いやれる心の優しい人間に育てる。
- * 遊びを通して思い切り体を動かし、健康な子どもに育てる。

2, 具体的な目標や計画

- * 職員が一丸となり、話し合い、自園を見つめていくことで、保育内容や環境の構成・改善に取り組んでいく。

3, 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
園の保育目標や教育要領に基づいた保育の実現	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で共通理解を図り、更に年間カリキュラム等を学年会でもみ込んでいったことで、向上できた ・日誌記入など日々の記録を参考にし、子どもの実態を把握し、振り返ることで充実を図ることができた
幼児が意欲的に遊びを進めるための環境構成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の興味・関心・その時の行事に向けての取組方で必要な用具・遊具の準備をすることで、自ら活動する幼児が増えた ・季節の遊びの素材提供も幼児の心を動かした
安全点検や教職員・幼児の安全対応力を高める	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等を通じて、大切さが分かり、真剣に取り組む、身についてきた ・保育の中で、危ないと感じたことを共有することで1人1人の意識を高めることができた
幼児の学びを、資質・能力や「幼児期の終わりまで育ってほしい姿」の視点から捉える力の育成	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園としては元より、各学年で育みたいことを明確に話し合い、記すことで、学びの連続性というものを更に考えられるようになった
特別支援教育の実施と園内支援体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・療育との連携を図り、発達の特長や課題を捉え、保育者同士が相談しながら、教材を取り入れてみたり、会議で情報を共有するようになった

4, 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の職員会の中で、自分のクラスのことや園全体のことを共有する場としているが、すぐに伝えるべきことは日々の職員会で伝え合うということを大事にしている。また、会議の中で提案するべきことは事前に伝え、各々しっかりと考えてくる時間を設けるようにしてきたことで、発言も増えてきた ・日誌に遊びの項目を足したことで、振り返りができ、職員の向上と幼児の遊びの幅が広がった

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5, 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
遊びの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊びにはどんなものがあるのか、向いているのかを考え、一緒に行ってみることで、見えてくるものがある ・職員の経験を振り返ったり、探究心を持って、日々取り組んでいく
特性のある幼児の課題や目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達・成長を理解し適切な関わりなど、研修に努めたりする ・積極的に療育や補助の職員との連携を図る ・保護者との連携も必須であるため、思いを受け入れたりしながら、対話を大事にしていく
行事の反省や改善点を今後に活かしていくためには。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の前までに必ず前年度の議事録に目を通し、その場の全員が共有できていることを前提に進めていく ・職員のためではなく、幼児に負担無く、楽しいと感じてもらえることを前提とし、話し合っていくことが大事である